

OptiPlex 7071 Tower

セットアップと仕様ガイド



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2019 年 Dell Inc. その関連会社。無断転載を禁じます。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 コンピュータのセットアップ	5
2 シャーシの概要	10
正面図.....	10
背面図.....	11
システム基板のレイアウト.....	12
3 OptiPlex 7071 Tower の仕様	13
チップセット.....	13
プロセッサ.....	13
オペレーティングシステム.....	14
メモリ.....	14
ストレージ.....	15
インテル Optane メモリ.....	15
ポートとコネクタ.....	16
メディアカードリーダー.....	17
オーディオ.....	17
ビデオ.....	18
通信.....	18
電源装置ユニット.....	19
寸法と重量.....	19
アドイン カード.....	20
セキュリティ.....	20
データ セキュリティ.....	20
環境.....	21
Energy Star と Trusted Platform Module (TPM).....	21
コンピュータ環境.....	21
4 セットアップユーティリティ	22
ブートメニュー.....	22
ナビゲーションキー.....	22
セットアップユーティリティのオプション.....	23
一般オプション.....	23
システム情報.....	24
ビデオ画面オプション.....	25
セキュリティ.....	25
安全起動オプション.....	27
Intel Software Guard Extensions のオプション.....	27
パフォーマンス.....	28
電力管理.....	29
POST 動作.....	29
管理性.....	30
Virtualization Support (仮想化サポート).....	30
ワイヤレスオプション.....	31

メンテナンス.....	31
システムログ.....	31
詳細設定.....	32
Windows での BIOS のアップデート.....	32
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート.....	32
USB フラッシュ ドライブを使用したシステム BIOS のアップデート.....	32
Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート.....	33
F12 ワン タイム ブート メニューからの BIOS のフラッシュ.....	33
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	38
システムパスワードまたはセットアップパスワードの割り当て.....	39
既存のシステムセットアップパスワードの削除または変更.....	39
5 ソフトウェア.....	40
ドライバのダウンロード.....	40
6 「困ったときは」と「デルへのお問い合わせ」.....	41

コンピュータのセットアップ

1. キーボードとマウスを接続します。



2. ケーブルを使用するか、ワイヤレス ネットワークに接続して、ネットワークに接続します。



3. ディスプレイを接続します。



4. 電源ケーブルを接続します。



5. 電源ボタンを押します。



6. オペレーティングシステムのセットアップを完了します。

Ubuntu の場合 :



画面の指示に従ってセットアップを完了します。Ubuntu のインストールと設定の詳細については、www.dell.com/support で、ナレッジベースの記事 [SLN151664](#) および [SLN151748](#) を参照してください。

Windows の場合 : 画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。

- ・ ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
- ・ **① メモ:** セキュアなワイヤレスネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレスネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
- ・ インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
- ・ Support and Protection (サポートおよび保護) の画面で、連絡先の詳細を入力します。

7. Windows スタートメニューから Dell アプリを見つけて使用します。 — 推奨

表 1. Dell アプリを見つける

Dell アプリ	詳細
	Dell 製品の登録 デルに、お使いのコンピュータを登録します。
	Dell ヘルプとサポート コンピュータのヘルプとサポートにアクセスします。



SupportAssist

コンピュータのハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。

メモ: SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。

Dell アップデート

重要な修正プログラムおよびデバイスドライバが提供された場合に、お使いのコンピューターを更新します。

Dell Digital Delivery

さまざまなソフトウェア アプリケーション (購入済みだがプリインストールされていないソフトウェアなど) を、お使いのコンピューターにダウンロードします。

シャーシの概要

トピック：

- ・ [正面図](#)
- ・ [背面図](#)
- ・ [システム基板のレイアウト](#)

正面図

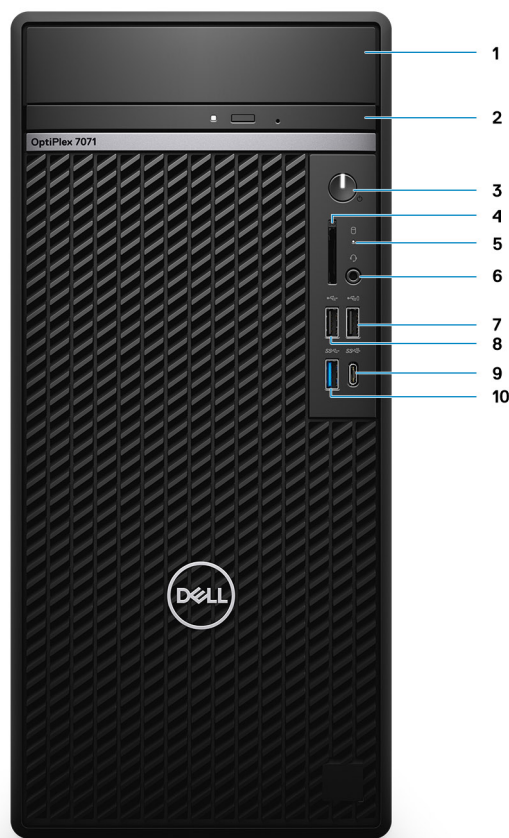


図 1. 正面図

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1. HDD ブラケット カバー | 2. オプティカルディスクドライブ |
| 3. 電源ボタン | 4. SD 4.0 カードリーダー (オプション) |
| 5. ハードドライブ動作ライト | 6. ヘッドセット/ユニバーサル オーディオ ジャック ポート |
| 7. PowerShare 機能付き USB 2.0 ポート | 8. USB 2.0 ポート |
| 9. USB 3.1 Gen 2 Type-C ポート (PowerShare 対応) | 10. USB 3.1 Gen 1 ポート |

背面図

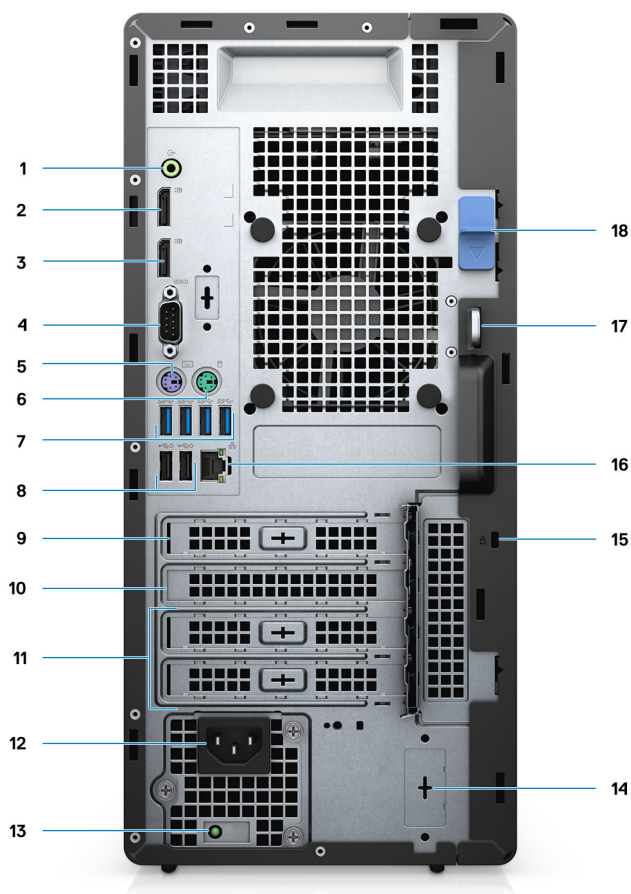
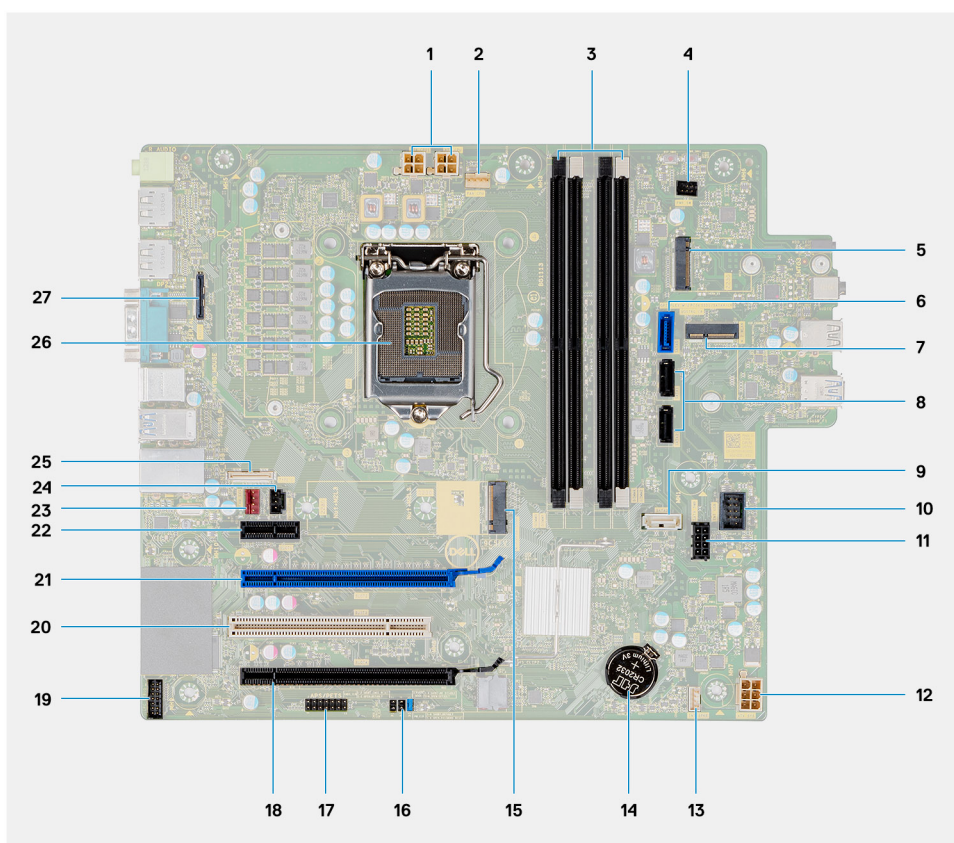


図 2. 背面図

1. ライン出力オーディオ ジャック
2. 2 x DisplayPort v1.2
3. オプションのモジュール (HDMI 2.0、 DP、 VGA、 USB Type-C Alt モード)
4. Serial port
5. PS/2 ポート (キーボード)
6. PS/2 ポート (マウス)
7. USB 3.1 Gen 1 ポート (4)
8. 2 x USB 2.0 ポート (スマート パワー オン対応)
9. PCI-Express スロット
10. PCI スロット
11. 2 x PCI-Express スロット
12. 電源ポート
13. 電源診断ライト
14. 2 x SMA コネクタ (オプション)
15. ケンジントン ロック
16. ネットワークポート
17. パドロック ループ
18. リリースラッチ

システム基板のレイアウト



1. PSU 電源コネクタ
2. プロセッサファンコネクタ
3. メモリモジュールコネクタ
4. 電源ボタンコネクタ
5. M.2 SD カードリーダー スロット/第2 M.2 PCIe コネクタ
6. SATA0 コネクタ (青)
7. M.2 WLAN コネクタ
8. SATA1/2 コネクタ (黒)
9. SATA3 コネクタ (白色)
10. 内部 USB コネクタ
11. SATA 電源ケーブル
12. ATX 電源コネクタ
13. スピーカーケーブルコネクタ
14. コイン型電池
15. M.2 2230/2280 SSD PCIe コネクタ
16. CMOS_CLR/Password/Service_Mode jumper
17. APS/PETS コネクタ
18. PCIe x16 (有線 x4) (Slot4)
19. LPC デバッグカードコネクタ
20. PCI-32 (Slot3)
21. PCIe x16 (Slot2)
22. PCIe x1 (Slot1)
23. シャーシファンコネクタ
24. インテルジョンスイッチコネクタ
25. Type-C コネクタ
26. プロセッサソケット
27. ビデオコネクタ

OptiPlex 7071 Tower の仕様

チップセット

表 2. チップセット

説明	値
チップセット	Intel Q370
プロセッサ	9 th Generation Intel Core i3/i5/i7/i9
DRAM バス幅	64 bit
PCIe バス	Gen 3.0

プロセッサ

① メモ: グローバルスタンダード製品 (GSP) は、世界的規模での可用性および同期化された移行のために管理されたデルの関連製品のサブセットです。全世界での購入で同じプラットフォームが使用できるように保証されます。これにより、お客様は世界的に管理される構成の数を減少させることができ、コストを削減することができます。また、会社では、世界的に特定の製品構成に固定することにより、世界的な IT スタンダードを実装することもできます。

デバイスガード (DG) および資格情報ガード (CG) は、現在 Windows 10 Enterprise でのみ使用可能な新しいセキュリティ機能です。Device Guard は、エンタープライズ関連のハードウェアおよびソフトウェアのセキュリティ機能を組み合わせたものです。一緒に設定すると、信頼できるアプリケーションのみを実行できるようにデバイスがロックされます。信頼できるアプリケーションでなければ実行できません。資格情報ガードは、仮想化ベースのセキュリティを使用して機密事項 (資格情報) を分離し、権限のあるシステムソフトウェアだけがアクセスできるようにします。これらの機密事項に不正にアクセスされると、資格情報の盗難攻撃につながる可能性があります。資格情報ガードは、NTLM パスワードハッシュとケルベロスチケット認証チケットを保護することにより、こうした攻撃を回避します。

① メモ: プロセッサ番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 3. プロセッサ

プロセッサ	ワット数	コア数	スレッド数	速度	キャッシュ	内蔵グラフィックス
第 9 世代 Intel Core i3-9100	65 W	4	4	3.60 GHz ~ 4.20 GHz	6 MB	Intel UHD グラフィックス 630
第 9 世代 Intel Core i3-9300	65 W	4	4	3.70 GHz ~ 4.30 GHz	8 MB	Intel UHD グラフィックス 630
第 9 世代 Intel Core i5-9400	65 W	6	6	2.90 GHz ~ 4.10 GHz	9 MB	Intel UHD グラフィックス 630
第 9 世代 Intel Core i5-9500	65 W	6	6	3.00 GHz ~ 4.40 GHz	9 MB	Intel UHD グラフィックス 630
第 9 世代 Intel Core i5-9600	65 W	6	6	3.10 GHz ~ 4.60 GHz	9 MB	Intel UHD グラフィックス 630
第 9 世代 Intel Core i7-9700	65 W	8	8	3.00 GHz ~ 4.70 GHz	12 MB	Intel UHD グラフィックス 630
第 9 世代 Intel Core i7-9700K	95 W	8	8	3.60 GHz ~ 4.90 GHz	12 MB	Intel UHD グラフィックス 630

プロセッサ	ワット数	コア数	スレッド数	速度	キャッシュ	内蔵グラフィックス
第9世代インテル Core i9-9900	65 W	8	16	3.10 GHz ~ 5.00 GHz	16 MB	インテル UHD グラフィックス 630
第9世代インテル Core i9-9900K	95 W	8	16	3.60 GHz ~ 5.00 GHz	16 MB	インテル UHD グラフィックス 630

オペレーティングシステム

- ・ Windows 10 Home (64-bit)
- ・ Windows 10 Professional (64-bit)
- ・ Windows 10 Enterprise Ready
- ・ Ubuntu 18.04 LTS 64-bit
- ・ NeoKylin (64-bit)

商用プラットフォーム Windows 10 N-2 およびオペレーティングシステムの5年間サポート

新しく導入された2019年以降のすべての商用プラットフォーム (Latitude、OptiPlex、および Dell Precision) は、最新の半期チャネル Windows 10 バージョン (N) に適合し、これが出荷時にインストールされます。それ以前の2つのバージョン (N-1、N-2) については、適合しますが、出荷時にはインストールされません。このデバイスプラットフォーム、OptiPlex 7070 は、発売時に Windows 10 バージョン v19H1 で RTS となります。このバージョン番号から、このプラットフォームで当初適合する N-2 バージョンが特定されます。

将来のバージョンの Windows 10 については、デルはその商用プラットフォームのデバイスの生産中、最新リリースの Windows 10 に対するテストを継続します。また、生産後も5年間にわたり Microsoft の秋と春の両リリースのテストを継続します。

N-2 および5年間 Windows オペレーティングシステムのサポートに関する追加情報については、dell.com/support の「Dell Windows as a Service (WaaS)」を参照してください。

メモリ

メモ: メモリモジュールは、同一のメモリサイズ、速度、テクノロジーのペアで取り付ける必要があります。メモリモジュールを同じメモリサイズのペアで取り付けていない場合、コンピュータは動作しますが、性能が少し低下します。メモリ範囲全体が64ビットオペレーティングシステムで使用可能です。

表 4. メモリの仕様

説明	値
スロット	4 UDIMM slots
タイプ	Dual-channel DDR4
速度	2666 MHz
最大メモリ	128 GB
最小メモリ	4 GB
スロットごとのメモリサイズ	4 GB, 8 GB, 16 GB, 32 GB
サポートされている構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 GB (1 x 4 GB) ・ 8 GB (2 x 4 GB, 1 x 8 GB) ・ 16 GB (2 x 8 GB, 1 x 16 GB) ・ 32 GB (1 x 32 GB, 4 x 8 GB, 2 x 16 GB) ・ 64 GB (2 x 32 GB, 4 x 16 GB) ・ 128 GB (4 x 32 GB)

ストレージ

Your computer supports one of the following configurations:

- One 2.5-inch hard drive
- Two 2.5-inch hard drives
- One 3.5-inch hard drive
- Two 3.5-inch hard drives
- One 2.5-inch hard drive and one 3.5-inch hard drive
- One M.2 2230/2280 solid-state drive (class 35, 40)
- One M.2 2230/2280 solid-state drive (class 35, 40) and one 3.5-inch hard drive
- One M.2 2230/2280 solid-state drive (class 35, 40) and one 2.5-inch hard drive/solid-state drive
- One M.2 2230/2280 solid-state drive (class 35, 40) and dual 2.5-inch hard drives
- One M.2 2230/2280 solid-state drive and one M.2 2230 solid-state drive through media card reader
- One 2.5-inch hard drive and one M.2 16 GB Intel Optane memory
- Dual 2.5-inch hard drives and one M.2 16 GB Intel Optane memory
- One 3.5-inch hard drive and one M.2 16 GB Intel Optane memory
- One 3.5-inch/2.5-inch hard drive and one M.2 16 GB Intel Optane memory

The primary hard drive of your computer varies with the storage configuration. For computers:

- with a M.2 solid-state drive, the M.2 solid-state drive is the primary drive
- without a M.2 drive, either the 3.5-inch hard drive or one of the 2.5-inch hard drives is the primary drive

メモ: デュアル 2.5 インチ ハードドライブおよびインテル Optane メモリ構成の場合は、2 つ目のハードドライブをコントロールから取り外して、Windows オペレーティングシステムのインテル Optane メモリをサポートする必要があります。

表 5. ストレージの仕様

ストレージのタイプ	インターフェイスのタイプ	容量
2.5-inch, 7200 rpm, SATA hard drive	SATA, up to 6 Gbps	Up to 1 TB
2.5-inch, 7200 rpm, FIPS Self-Encrypting Opal 2.0 hard drive	SATA, up to 6 Gbps	Up to 500 GB
2.5-inch, 5400 rpm, hard drive	SATA, up to 6 Gbps	Up to 2 TB
3.5-inch, 5400 rpm, SATA hard drive	SATA, up to 6 Gbps	Up to 4 TB
3.5-inch, 7200 rpm, SATA hard drive	SATA, up to 6 Gbps	Up to 2 TB
M.2 2230, PCIe NVMe, Class 35 solid-state drive	PCIe NVMe Gen3 x4	Up to 512 GB
M.2 2280, PCIe NVMe, Class 40 solid-state drive	PCIe NVMe Gen3 x4	Up to 2 TB
M.2 2280, PCIe NVMe, Class 40 Self-Encrypting Opal 2.0 solid-state drive	PCIe NVMe Gen3 x4	Up to 1 TB

インテル Optane メモリ

インテル Optane メモリはストレージアクセラレーターとしてのみ機能します。お使いのコンピューターに搭載されているメモリ (RAM) に取って代わるものでも、それを追加するものでもありません。

メモ: インテル Optane メモリは、次の要件を満たすコンピューターでサポートされます。

- 第 7 世代以降のインテル Core i3/i5/i7 プロセッサ
- Windows 10 64 ビット バージョン以降 (Anniversary Update)
- 最新バージョンのインテル ラピッド ストレージ テクノロジー ドライバ
- UEFI 起動モードの設定

表 6. インテル Optane メモリ

説明	値
タイプ	Storage
インタフェース	PCIe 3.0x4
コネクタ	M.2 2230/2280
サポートされている構成	16 GB
容量	Up to 32 GB

ポートとコネクタ

表 7. 外部ポートとコネクタ

説明	値
外部 :	
ネットワーク	1 RJ-45 port 10/100/1000 Mbps (rear)
USB	<ul style="list-style-type: none"> 1 USB 2.0 port with PowerShare (front) 1 USB 2.0 port (front) 2 USB 2.0 ports with Smart Power On (rear) 1 USB 3.1 Gen 2 Type-C port with PowerShare (front) 1 USB 3.1 Gen 1 port (front) 4 USB 3.1 Gen 1 ports (rear)
Audio	<ul style="list-style-type: none"> 1 Universal audio jack (front) 1 Line-out audio jack (rear)
ビデオ	<ul style="list-style-type: none"> 2 DisplayPort v1.2 1 Optional 3rd video port—HDMI 2.0, DP, VGA, or USB Type-C Alt mode)
メディアカードリーダー	1 SD 4.0 card—optional
ドッキングポート	Not supported
電源アダプターポート	AC-in
シリアル	1 ポート
PS/2	2 ポート
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> 1 Kensington slot 1 Padlock loop
アンテナ	2 x SMA コネクタ (オプション)

表 8. 内部ポートとコネクタ

説明	値
内部 :	
拡張	<ul style="list-style-type: none"> 1 x フルハイト Gen 3 PCIe x16 スロット 1 x フルハイト PCIe x16 (有線 x4) スロット 1 x フルハイト PCI-32 スロット 1 x フルハイト PCIe x1 スロット

説明	値
SATA スロット	4×3.5 インチ HDD、2.5 インチ HDD/SSD、スリム光ディスクドライブ (ODD) 用の SATA スロット
M.2	<ul style="list-style-type: none"> 1 M.2 2230 slot for WiFi 1 M.2 2230/2280 slot for solid-state drive or Intel Optane Memory 1 M.2 2230 slot for solid-state drive through media card reader <p>メモ: さまざまなタイプの M.2 カードの機能の詳細については、ナレッジ ベース記事 SLN301626 を参照してください。</p>

メディアカードリーダー

メモ: メディアカードリーダーは、デュアル M.2 構成と同時に指定することはできません。

表 9. メディアカードリーダーの仕様

説明	値
タイプ	1 SD 4.0 card
サポートされるカード	<ul style="list-style-type: none"> Secure Digital (SD) Secure Digital High Capacity (SDHC) Secure Digital Extended Capacity (SDXC) MultiMedia Card (MMC) MMC+

オーディオ

表 10. オーディオの仕様

説明	Values
コントローラ	Realtek ALC3246
ステレオ変換	Supported
内部インターフェース	High Definition Audio interface
外部インターフェース	Universal audio jack
スピーカー	1
アンプ内蔵スピーカー	Not supported
外付けボリューム コントロール	Keyboard shortcut controls
スピーカー出力 :	
平均値	2 W
ピーク値	2.5 W
サブウーハー出力	Not supported
マイク	Not supported

ビデオ

表 11. 専用グラフィックスカードの仕様

専用グラフィックスカード

コントローラ	外部ディスプレイ対応	メモリサイズ	メモリのタイプ
AMD Radeon RX 550	DP 1.4/2 x mDP	4 GB	GDDR5
NVIDIA GeForce RTX 2080	3 x DP1.4/1 x HDMI 2.0b	8 GB	GDDR6
NVIDIA GeForce GTX 1660	HDMI 2.0b/DVI-D/DP 1.4a	6 GB	GDDR5

表 12. 内蔵グラフィックの仕様

内蔵グラフィックス

コントローラ	外部ディスプレイ対応	メモリサイズ	プロセッサ
Intel UHD Graphics 630	2 x DP 1.2	Shared system memory	9 th Generation Intel Core i3/i5/i7/i9

通信

イーサネット

表 13. Ethernet の仕様

説明	値
Model number (モデル番号)	Intel i219LM
転送レート	10/100/1000 Mbps

ワイヤレス モジュール

表 14. ワイヤレス モジュールの仕様

説明	値	
Model number (モデル番号)	Qualcomm QCA9377	Intel AX200
転送レート	Up to 433 Mbps	Up to 2400 Mbps
サポートされている周波数帯域	2.4 GHz, 5 GHz	2.4 GHz, 5 GHz
ワイヤレス規格	<ul style="list-style-type: none">WiFi 802.11a/b/gWi-Fi 4 (WiFi 802.11n)Wi-Fi 5 (WiFi 802.11ac)	<ul style="list-style-type: none">WiFi 802.11a/b/gWi-Fi 4 (WiFi 802.11n)Wi-Fi 5 (WiFi 802.11ac)Wi-Fi 6 (WiFi 802.11ax)
暗号化	<ul style="list-style-type: none">64-bit/128-bit WEPAES-CCMPTKIP	<ul style="list-style-type: none">64-bit/128-bit WEPAES-CCMPTKIP
Bluetooth	Bluetooth 4.2	Bluetooth 5

電源装置ユニット

表 15. 電源装置ユニットの仕様

説明	値	
タイプ	D9 260 W EPA Bronze	D10 460 W EPA Bronze
直径 (コネクタ)	非対応	非対応
入力電圧	90 ~ 264 VAC	90 ~ 264 VAC
入力周波数	47 ~ 63 Hz	47 ~ 63 Hz
入力電流 (最大)	4.20 A	7 A
出力電流 (連続)	<ul style="list-style-type: none"> ・ +12 VA/16.50 A ・ 12 VB/16 A ・ +12 VSB/2.50 A スタンバイ モード : <ul style="list-style-type: none"> ・ +12 VA/0.5 A ・ +12 VB/2.5 A 	<ul style="list-style-type: none"> ・ +12 VA1/18 A ・ +12 VA2/18 A ・ 12 VB/18 A ・ +12 VC/18 A スタンバイ モード : <ul style="list-style-type: none"> ・ +12 VA1/1.50 A ・ +12 VA2/1.50 A ・ +12 VB/2.50 A
定格出力電圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12 VA ・ 12 VB 	<ul style="list-style-type: none"> ・ +12 VA1 ・ +12 VA2 ・ 12 VB ・ 12 VC
温度範囲 :		
動作時	5°C ~ 45°C (41°F ~ 113°F)	5°C ~ 45°C (41°F ~ 113°F)
ストレージ	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

寸法と重量

表 16. 寸法と重量

説明	値
高さ :	
前面	367 mm (14.45 in.)
背面	367 mm (14.45 in.)
幅	169 mm (6.65 in.)
奥行き	300.80 mm (11.84 in.)
重量 (最大)	9.11 kg (20.08 lb)

① **メモ:** コンピューターの重量は、発注時の構成や製造上の条件により異なる場合があります。

アドイン カード

表 17. アドイン カード

アドイン カード

タワー用追加 VGA ビデオ ポート
追加 HDMI 2.0 ビデオ ポート タワー
USB 3.1 Gen 2 Type-C PCIe カード
タワー用 USB 3.1 Gen 2 Type-C Alt モード ポート
USB 3.1 Gen 2 PCIe カード
タワー用追加 DisplayPort
シリアルおよびパラレル ポート PCIe カード
インテル ギガビット NIC PCIe カード
Aquantia AQtion AQN-108 5/2.5 GbE NIC アダプタ
タワー用電源付きシリアル カード PCIe FH

セキュリティ

表 18. セキュリティ

Security Options (セキュリティオプション)	OptiPlex 7071 Tower
ケンジントンロック	対応
パドロック	対応
ロック可能ポート カバー	オプション
Windows Hello のサポート	セキュリティ入力デバイス経由のオプション
シャーシントルージョンスイッチ	Standard (標準)
Dell スマートカード キーボード	オプション

データ セキュリティ

表 19. データ セキュリティ

データ セキュリティ オプション	値
Dell データ保護—Endpoint Security Suite および Endpoint Security Suite Enterprise	対応
Dell データ保護—SW 暗号化	対応
Dell データ保護—外部メディア暗号化	非対応
Windows 10 Device Guard および Credential Guard (Enterprise SKU)	対応
Microsoft Windows BitLocker	対応
BIOS を使用したローカル ハードドライブ データ消去 (セキュア消去)	対応
FIPS 自己暗号化 Opal 2.0 ハードドライブ	対応

環境

表 20. 環境仕様

特長	OptiPlex 7071 Tower
リサイクル可能パッケージ	有
BFR/PVC—フリー シャーシ	無
垂直方向パッケージ化サポート	有
マルチパック パッケージ	はい (DAO のみ)
省エネルギー型 PSU	Standard (標準)
ENV0424 準拠	有

① **メモ:** 木質ベースのファイバー パッケージには、木質ベース ファイバーの総重量によって、最大 35%の再生原材料が含まれています。木質ベースのファイバーが含まれないパッケージは、「該当なし」として支払い申請することができます。2018 年 1H 改訂版 EPEAT の今後予想される必要基準。

Energy Star と Trusted Platform Module (TPM)

表 21. Energy Star と TPM

機能	仕様
Energy Star	準拠
TPM	ハードウェア Trusted Platform Module (専用 TPM 有効)

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 22. コンピュータ環境

説明	動作時	ストレージ
温度範囲	10°C to 35°C (50°F to 95°F)	-40°C to 65°C (-40°F to 149°F)
相対湿度 (最大)	20% to 80% (non-condensing)	5% to 95% (non-condensing)
振動 (最大) *	0.26 GRMS	1.37 GRMS
衝撃 (最大)	40 G†	105 G†
高度 (最大)	0 m to 3048 m (32 ft to 10000 ft)	0 m to 10668 m (32 ft to 35000 ft)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティでは、デスクトップハードウェアの管理と BIOS レベル オプションの指定を行うことができます。システムセットアップから実行できる操作は次のとおりです。

- ・ ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- ・ システムハードウェアの構成を表示する。
- ・ 内蔵デバイスの有効/無効を切り替える。
- ・ パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- ・ コンピュータのセキュリティを管理する。

トピック：

- ・ [ブートメニュー](#)
- ・ [ナビゲーションキー](#)
- ・ [セットアップユーティリティのオプション](#)
- ・ [Windows での BIOS のアップデート](#)
- ・ [システムパスワードおよびセットアップパスワード](#)

ブートメニュー

システムの有効な起動デバイスのリストでワнтаイム ブート メニューを開始するには、Dell のロゴが表示されたときに<F12>を押します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムに搭載されたブータブル デバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用して、BIOS に格納されている起動順序を変更しないようにしてください。

このオプションは次のとおりです。

- ・ Legacy External Device Boot
 - ・ Onboard NIC (オンボード NIC)
- ・ UEFI Boot :
 - ・ UEFI : TOSHIBA MQ01ACF050
- ・ その他のオプション :
 - ・ BIOS セットアップ
 - ・ デバイス構成
 - ・ BIOS Flash Update
 - ・ 診断
 - ・ Intel (R) Management Engine BIOS Extension (MEBx)
 - ・ Change Boot Mode Settings (起動モードの設定の変更)

ナビゲーションキー

① **メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか (該当する場合)、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。

キー ナビゲーション

<Esc> メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

セットアップユーティリティのオプション

① **メモ:** お使いのコンピューターおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般オプション

表 23. 一般規定

オプション	説明
システム情報	以下の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">・ System Information : BIOS バージョン、サービスタグ、Asset Tag、購入者タグ、製造日、購入日、エクスプレス サービス コードが表示されます。・ Memory Information : 搭載メモリ、使用可能メモリ、メモリ速度、メモリ チャンネル モード、メモリ テクノロジー、DIMM 1 サイズ、DIMM 2 サイズ、DIMM 3 サイズ、および DIMM 4 サイズが表示されます。・ PCI Information : Slot1、Slot2、Slot3、Slot4、Slot5_M.2、Slot6_M.2、Slot7_M.2 が表示されます。・ Processor Information : プロセッサのタイプ、コア数、プロセッサ ID、現在のクロック スピード、最小クロック スピード、最大クロック スピード、プロセッサ L2 キャッシュ、プロセッサ L3 キャッシュ、HT 対応、および 64 ビット テクノロジーを表示します。・ Device Information : SATA-0、SATA 4、M.2 PCIe SSD-0、LOM MAC アドレス、ビデオコントローラ、オーディオ コントローラ、Wi-Fi デバイス、Bluetooth デバイスを表示します。
Boot Sequence	このリスト内の指定されたデバイスからコンピューターが OS を探す順序です。 Boot Sequence : デフォルトでは、 UEFI: TOSHIBA MQ01ACF050 オプションは有効になっています。 Boot List Option : <ul style="list-style-type: none">・ Legacy External Devices・ UEFI—UEFI オプションはデフォルトで有効です。
詳細起動オプション	UEFI 起動モードのときに、Enable Legacy Option ROMs (レガシーオプション ROM を有効にする) オプションを選択できます。 <ul style="list-style-type: none">・ Enable Legacy Option ROMs—Enable Legacy Option ROMs オプションはデフォルトで有効に設定されています。・ Enable Attempt Legacy Boot (レガシー起動試行を有効にする)
UEFI Boot Path Security	このオプションは、F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動する場合に、システムがユーザーに管理者パスワードを入力するように求めるかどうかを制御します。 <ul style="list-style-type: none">・ Always, Except Internal HDD—Always, Except Internal HDD オプションはデフォルトで有効に設定されています。・ Always, except internal HDD&PXE・ Always・ Never
Date/Time	日付と時刻を設定できます。システムの日付と時刻の変更はすぐに有効になります。

システム情報


表 24. システム設定

オプション	説明
Integrated NIC	<p>オンボード LAN コントローラを制御できます。Enable UEFI Network Stack オプションは、デフォルトでは選択されていません。このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> Disabled (無効) 有効 Enabled w/PXE : Enabled w/PXE オプションはデフォルトで有効に設定されています。 <p>メモ: コンピューターおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示されている項目の一部がない場合があります。</p>
Serial Port (シリアルポート)	<p>このオプションは、内蔵シリアルポートの動作を決定します。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> Disabled (無効) COM1 : COM1 オプションはデフォルトで有効に設定されています。 COM2 COM3 COM4
SATA Operation	<p>このオプションは内蔵 SATA ハードドライブコントローラの動作モードを設定することができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> Disabled—SATA コントローラは非表示 AHCI—SATA は AHCI モード用に構成済み RAID ON—SATA は RAID モードをサポートするよう設定されています。このオプションはデフォルトで有効化されています。
Drives	<p>各種オンボードドライブを有効または無効に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> SATA-0 SATA-1 SATA-2 SATA-3 SATA-4 M.2 PCIe SSD-0 M.2 PCIe SSD-1
Smart Reporting	<p>このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。Enable Smart Reporting オプションはデフォルトでは無効になっています。</p>
USB 設定	<p>内蔵 USB コントローラの有効/無効を切り替えることができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする) — デフォルトで有効に設定されています。 Enable Front USB Ports—デフォルトで有効 Enable Rear USB Ports—デフォルトで有効
Front USB Configuration	<p>前面 USB ポートを有効または無効にすることができます。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> Front Port 1 (右下) *—デフォルトで有効 Front Port1 w/PowerShare (右上) —デフォルトで有効 Front Port 2 (左下) *—デフォルトで有効 Front Port 2 (左上) —デフォルトで有効

オプション	説明
Rear USB Configuration	背面 USB ポートを有効または無効にすることができます。すべてのポートはデフォルトで有効に設定されています。
USB PowerShare	このオプションで、携帯電話や音楽プレーヤーなどの外付けデバイスを充電することができます。 Enable USB PowerShare オプションはデフォルトで無効になっています。
Audio	内蔵オーディオコントローラを有効または無効にすることができます。 Enable Audio オプションはデフォルトで有効になっています。 <ul style="list-style-type: none"> Enable Microphone (マイクを有効にする) — デフォルトで有効に設定されています。 Enable Internal Speaker (内部スピーカーを有効にする) — デフォルトで有効に設定されています。
Dust Filter Maintenance	コンピューターに取り付けられているダスト フィルター (オプション) のメンテナンスに関する BIOS メッセージを有効または無効にできます。設定された間隔に基づいてダスト フィルターを清掃または交換するよう促すメッセージが、起動前に BIOS によって生成されます。 <ul style="list-style-type: none"> Disabled (無効) — デフォルトで有効に設定されています。 15 days 30 days 60 days 90 days 120 days 150 days 180 days
Miscellaneous Devices	各種オンボードデバイスを有効または無効にすることができます。このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Enable PCI Slot—デフォルトで有効 Enable Secure Digital (SD) Card—デフォルトで有効 Secure Digital (SD) Card Secure Digital (SD) card Read-Only-Mode (SD カード読み取り専用モード)

ビデオ画面オプション

表 25. ビデオ

オプション	説明
Primary Display	複数のコントローラがシステムで利用可能なときに、プライマリディスプレイを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> Auto (デフォルト) Intel HD グラフィックス <p> メモ: Auto (自動) を選択しない場合は、オンボードグラフィックスデバイスが存在し、有効に設定されます。</p>

セキュリティ

表 26. セキュリティ

オプション	説明
Admin Password	管理者パスワードを設定、変更、および削除することができます。
System Password	システムパスワードを設定、変更、および削除することができます。
Internal HDD-0 Password	コンピューターの内蔵ハード ドライブを設定、変更、および削除することができます。
Strong Password	システムの強力なパスワードを有効または無効に設定できます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

オプション	説明
Password Configuration	管理者パスワードとシステムパスワードの最小および最大の許容文字数を制御できます。文字数の範囲は 4~32 です。
Password Bypass	このオプションを選択すると、システムの再起動時、システム（起動）パスワードと内蔵ハードドライブのパスワード入力のプロンプトをスキップすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Disabled—パスワードが設定されると、システムおよび内蔵ハードドライブのパスワード入力のプロンプトが表示されます。このオプションはデフォルトで有効化されています。 ・ Reboot Bypass — 再起動時、パスワード入力ダイアログをスキップします（ウォームブート）。 <p>メモ: オフの状態から電源を入れると（コールドブート）、システムはシステムパスワードと内蔵ハードドライブのパスワードの入力を常に指示します。また、モジュールベイ HDD がある場合でも、パスワードの入力が指示されます。</p>
Password Change	管理者パスワードが設定されている場合に、システムおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定するオプションです。 Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワードによる変更を許可) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
UEFI Capsule Firmware Updates	このオプションで、システムがUEFI カプセルアップデートパッケージから BIOS をアップデートできるかどうかを制御します。このオプションはデフォルトで有効化されています。このオプションを無効にすると、Microsoft Windows Update や LVFS (Linux Vendor Firmware Service) のようなサービスからの BIOS のアップデートをブロックします。
TPM 2.0 Security	TPM (Trusted Platform Module) をオペレーティングシステムが認識できるかどうかを制御することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ TPM On (TPM オン) — デフォルトで有効に設定されています。 ・ Clear ・ 有効なコマンドの PPI をスキップ ・ 無効なコマンドの PPI をスキップ ・ PPI Bypass for Clear Commands ・ Attestation Enable—デフォルトで有効 ・ Key Storage Enable—デフォルトで有効 ・ SHA-256 — デフォルトで有効に設定されています。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Disabled (無効) ・ Enabled (有効) — デフォルトで有効に設定されています。
Absolute	このフィールドでは、オプションの Absolute Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュール インターフェイスを、Enabled、Disabled、Permanently Disabled のいずれかに設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Enabled (有効) — デフォルトで有効に設定されています。 ・ Disabled (無効) ・ Permanently Disabled
Chassis Intrusion	このフィールドでは、シャーシイントルージョン機能を制御します。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Disabled (無効) — デフォルトで有効に設定されています。 ・ 有効 ・ On-Silent (オンサイレント)
OROM Keyboard Access	このオプションで、システム起動時にホットキーを使用して [Option ROM Configuration] 画面を表示させるかどうかを決定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Disabled (無効) ・ Enabled (有効) — デフォルトで有効に設定されています。 ・ One Time Enable (1回のみ有効)

オプション	説明
Admin Setup Lockout	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップの起動を防止することができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
Master Password Lockout	有効の場合、このオプションはマスターパスワードのサポートを無効にします。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
SMM Security Mitigation	UEFI SMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

安全起動オプション

表 27. 安全起動

オプション	説明
Secure Boot Enable	安全起動機能を有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> Secure Boot Enable このオプションは、デフォルトでは選択されていません。
Secure Boot Mode	UEFI ドライバの署名を検証するように、または強制するようにセキュアブートの動作を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> Deployed Mode (デフォルト) Audit Mode
Expert key Management	システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。 Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトでは無効になっています。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> PK (デフォルト) KEK db dbx Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、 PK 、 KEK 、 db 、および dbx の関連オプションが表示されます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Save to File (ファイルに保存) - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。 Replace from File (ファイルから交換) - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。 Append from File (ファイルから追加) - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。 Delete (削除) - 選択したキーを削除します。 Reset All Keys (すべてのキーをリセット) - デフォルト設定にリセットします。 Delete All Keys (すべてのキーを削除) - すべてのキーを削除します。 <i>メモ:</i> Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。

Intel Software Guard Extensions のオプション

表 28. インテルソフトウェアガードエクステンションズ

オプション	説明
Intel SGX Enable	このフィールドでは、メイン OS のコンテキストでコードの実行や、機密情報の保管を行うためのセキュアな環境を設定します。このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Disabled (無効)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> 有効 Software controlled (ソフトウェア制御) — デフォルトで有効に設定されています。
Enclave Memory Size	<p>このオプションで、SGX Enclave Reserve Memory サイズを設定します。</p> <p>このオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 32 MB 64 MB 128 MB — デフォルトで有効に設定されています。

パフォーマンス

表 29. パフォーマンス

オプション	説明
Multi Core Support	<p>このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [All] - デフォルト 1 2 3
Intel SpeedStep	<p>プロセッサの Intel SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする) <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
C-States Control	<p>追加プロセッサのスリープ状態を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> C States <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
Intel TurboBoost	<p>プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする) <p>このオプションは、デフォルトで設定されています。</p>
Hyper-Thread Control	<p>ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効 [Enabled] - デフォルト

電力管理

表 30. 電源管理

オプション	説明
AC Recovery	電力損失の後に AC 電源を復元した場合のシステムの動作を決定します。AC リカバリは次のいずれかに設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> 電源オフ—デフォルトで有効 電源を入れる Last Power State (直前の電源状態)
Enable Intel Speed Shift Technology	Intel Speed Shift Technology オプションを有効または無効にします。このオプションはデフォルトで有効化されています。
Auto On Time	このオプションを使用すると、コンピューターの電源を自動的にオンにする時間を設定することができます。このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Disabled (無効) — デフォルトで有効に設定されています。 Every Day (毎日) Weekdays (平日) Select Days (選択した日)
Deep Sleep Control	このオプションを選択すると、システムがシャットダウン (S5) または休止 (S4) モードの間、どの程度のレベルで電力を節約するかを決定します。このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Disabled (無効) Enabled in S5 only (S5 のみで有効) S4 と S5 で有効—デフォルトで有効
Fan Control Override	このオプションは、デフォルトでは設定されていません
USB Wake Support	USB デバイスでコンピューターを待機状態からウェイクさせることができます。 Enable USB Wake Support オプションはデフォルトで選択されています。
Wake on LAN/WLAN	このオプションでは、特殊な LAN 信号でトリガーすることで、コンピューターの電源をオフ状態から投入することができます。この機能は、コンピューターが AC 電源に接続されている場合にのみ正常に動作します。 <ul style="list-style-type: none"> Disabled - LAN またはワイヤレス LAN からウェイクアップ信号を受信すると、特殊な LAN 信号によるシステムの起動が許可されなくなります。 LAN or WLAN (LAN または WLAN) — 特殊な LAN 信号または無線 LAN 信号によりシステムの電源がオンになります。 LAN Only (LAN のみ) - 特殊な LAN 信号によるシステムの起動を許可します。 LAN with PXE Boot - S4 または S5 状態のシステムに送られるウェイクアップ パケットにより、システムがウェイクアップしてすぐに PXE を起動します。 WLAN Only (WLAN のみ) - 特殊な WLAN 信号によるシステムの起動を許可します。 Disabled オプションはデフォルトで有効です。
Block Sleep	オペレーティング システムの環境でスリープ (S3 ステート) に入るのをブロックすることができます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

POST 動作

表 31. POST 動作

オプション	説明
Numlock LED	コンピューターの起動時に、Numlock 機能を有効または無効に設定することができます。このオプションはデフォルトで有効化されています。
Keyboard Errors	コンピューターの起動時に、キーボードエラーのレポートを有効または無効に設定することができます。[Enable Keyboard Error Detection] オプションはデフォルトで有効になっています。

オプション	説明
Fast Boot	一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスをスピードアップするオプションです。 <ul style="list-style-type: none"> Minimal (最小) — BIOS が更新されたり、メモリが変更されたり、または以前の POST が完了していない限り、システムは高速で起動します。 Thorough (完全) — システムは、起動プロセスの手順をスキップしません。 Auto (自動) — オペレーティングシステムでこの設定をコントロールできるようになります (オペレーティングシステムが Simple Boot Flag (シンプル起動フラグ) をサポートしている場合のみ、有効です)。 このオプションは、デフォルトで Thorough (完全) に設定されています。
Extend BIOS POST Time	このオプションでは、追加のプリブート遅延を作成します。 <ul style="list-style-type: none"> [0 seconds] (デフォルト) 5 秒 10 秒
Full Screen logo	このオプションでは、お使いのイメージが画面解像度に一致する場合に、フルスクリーンロゴを表示します。[Enable Full Screen Logo] オプションはデフォルトでは設定されていません。
Warnings and Errors	このオプションでは、警告またはエラーが検出された場合に起動プロセスを一時停止するかどうかを設定します。次のいずれかのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> [Prompt on Warnings and Errors] (デフォルト) Continue on Warnings (警告検出でも続行) Continue on Warnings and Errors (警告およびエラーの検出でも続行)

管理性

表 32. 管理性

オプション	説明
Intel AMT Capability	このオプションを使用すると、インテル AMT 機能を有効または無効にすることができます。このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Disabled (無効) Enabled (有効) — デフォルトで有効に設定されています。 Restrict MEBx Access
USB provision	このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
MEBx Hotkey	このオプションはデフォルトで有効化されています。

Virtualization Support (仮想化サポート)

表 33. 仮想化サポート

オプション	説明
Virtualization	このオプションでは、インテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を Virtual Machine Monitor (VMM) で使用できるようにするかどうかを指定します。 Enable Intel Virtualization Technology オプションはデフォルトで有効に設定されています。
VT for Direct I/O	ダイレクト I/O 用に、インテル仮想化テクノロジーが提供する追加のハードウェア機能を Virtual Machine Monitor (VMM) で使用できるようにするかどうかを指定します。 Enable VT for Direct I/O オプションはデフォルトで有効に設定されています。
Trusted Execution	このオプションではインテル信頼された実行テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を Measured Virtual Machine Monitor (MVMM) で使用できるようにするかどうかを指定します。

Trusted Execution オプションはデフォルトで無効に設定されています。

ワイヤレスオプション

表 34. ワイヤレス

オプション	説明
Wireless Device Enable	<p>内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WLAN/WiGig ・ Bluetooth <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>

メンテナンス

表 35. メンテナンス

オプション	説明
Service Tag	コンピュータのサービスタグを表示します。
Asset Tag	<p>Asset Tag が設定されていない場合、このオプションを使用すると、システム Asset Tag を作成することができます。</p> <p>このオプションはデフォルトで無効に設定されています。</p>
SERR Messages	SERR Message メカニズムを制御します。このオプションは、デフォルトで設定されています。SERR Message メカニズムが無効になっていることが必要なグラフィックスカードもあります。
BIOS Downgrade	<p>システム ファームウェアの以前のリビジョンをフラッシュすることができます。</p> <p>Allow BIOS Downgrade オプションは、デフォルトで有効に設定されています。</p>
Data Wipe	このオプションで、ユーザーはすべての内蔵ストレージ デバイスからデータを安全に消去することができます。このプロセスは、SerialATA のセキュリティ消去および eMMC JEDEC Sanitize の仕様に準拠しています。 Wipe on Next Boot オプションはデフォルトで無効になっています。
Bios Recovery	<p>BIOS Recovery from Hard Drive - このオプションはデフォルトで設定されています。ハードドライブまたは外付け USB ドライブのリカバリ ファイルから、破損した BIOS をリカバリできます。</p> <p>BIOS Auto-Recovery - BIOS を自動的にリカバリできます。</p>
First Power On Date	所有権の日付を設定できます。[Set Ownership Date] オプションは、デフォルトでは設定されていません。

システムログ

表 36. システムログ

オプション	説明
BIOS events	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。

詳細設定

表 37. 詳細設定

オプション	説明
ASPM	ASPM レベルを設定できます。 <ul style="list-style-type: none">・ [Auto] (デフォルト) - デバイスと PCI Express ハブ間でハンドシェイクを行い、デバイスでサポートされている最適な ASPM モードを判断します。・ [Disabled] - ASPM 電源管理は常にオフになります。・ [L1 Only] - ASPM 電源管理は L1 を使用するよう設定されます。

Windows での BIOS のアップデート

システム基板を交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS (セットアップユーティリティ) をアップデートすることをお勧めします。

① | メモ: BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

1. コンピュータを再起動します。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
 - ・ サービスタグやエクスプレスサービスコードを入力し、**Submit (送信)** をクリックします。
 - ・ [**Detect Product**] をクリックして、画面に表示される指示に従います。
3. サービスタグを検出または検索できない場合は、[**Choose from all products**] をクリックします。
4. リストから **Products** カテゴリを選択します。

① | メモ: 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。

5. お使いのコンピュータモデルを選択すると、そのコンピュータの**製品サポート**ページが表示されます。
6. **Get drivers** をクリックし、**Drivers and Downloads** をクリックします。
[Drivers and Downloads] セクションが開きます。
7. [**Find it myself**] をクリックします。
8. [**BIOS**] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、**Download** をクリックします。
10. **ダウンロード方法を以下から選択**してください ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、**Download File (ファイルのダウンロード)** をクリックします。
ファイルのダウンロードウィンドウが表示されます。
11. ファイルをコンピュータに保存する場合は、**Save (保存)** をクリックします。
12. **Run (実行)** をクリックしてお使いのコンピュータに更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

△ | 注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリ キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリ キーが不明な場合は、データ消失の原因となったり、本来必要のないオペレーティングシステムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

USB フラッシュドライブを使用したシステム BIOS のアップデート

システムが Windows にロードできないときに、BIOS をアップデートする必要がある場合は、別のシステムを使用して BIOS ファイルをダウンロードし、ブータブル USB フラッシュドライブに保存します。

① **メモ:** ブータブル USB フラッシュドライブを使用する必要があります。詳細については、次の記事を参照してください。
<https://www.dell.com/support/article/sln143196/>

1. BIOS アップデート.EXE ファイルを別のシステムにダウンロードします。
2. ファイル (O9010A12.EXE など) をブータブル USB フラッシュドライブにコピーします。
3. BIOS のアップデートを必要とするシステムに、USB フラッシュドライブを挿入します。
4. システムを再起動し、デルのスプラッシュ ロゴが表示されたら F12 を押して、ワンタイム ブート メニューを表示します。
5. 矢印キーを使用して、**USB Storage Device** を選択し、[Return] をクリックします。
6. システムが起動し、Diag C:\>プロンプトが表示されます。
7. 完全なファイル名 (O9010A12.exe など) を入力して [Return] を押し、ファイルを実行します。
8. BIOS アップデートユーティリティがロードされます。画面の手順に従います。



図 3. DOS の BIOS アップデート画面

Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート

Ubuntu などの Linux 環境でシステム BIOS をアップデートする場合は、<https://www.dell.com/support/article/sln171755/>を参照してください。

F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のフラッシュ

FAT32 USB キーにコピーされた BIOS アップデート.exe ファイルを使用したシステム BIOS のアップデートと、F12 ワンタイム ブート メニューからのブート

BIOS のアップデート

ブータブル USB キーを使用して Windows から BIOS アップデート ファイルを実行するか、システムの F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートできます。

2012 年より後に構築されたほとんどの Dell 製システムにはこの機能があり、システムを F12 ワンタイム ブート メニューで起動することにより、システムのブート オプションとして [BIOS FLASH UPDATE] がリストされていることを確認できます。このオプションがリストされている場合、BIOS はこの BIOS アップデート オプションをサポートします。

① **メモ:** F12 ワンタイム ブート メニューに [BIOS Flash Update] オプションがあるシステムのみがこの機能を使用できます。

ワンタイム ブート メニューからのアップデート

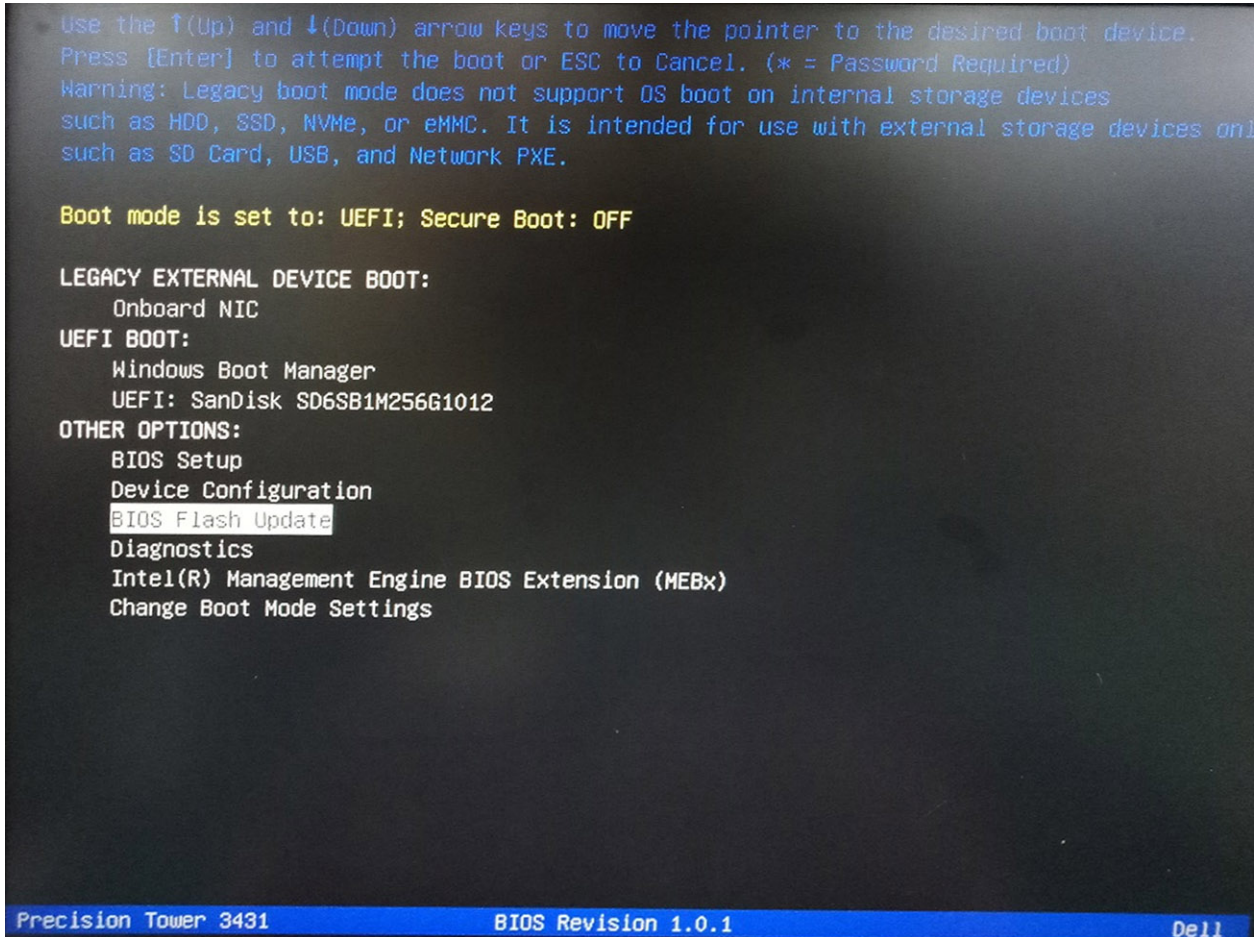
F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートするには、以下のものがが必要です。

- ・ FAT32 ファイル システムにフォーマットされた USB キー (キーはブータブルでなくてもよい)
- ・ デル サポート用 Web サイトからダウンロードして、USB キーの root にコピーした BIOS 実行ファイル
- ・ システムに接続された AC 電源アダプタ
- ・ BIOS をフラッシュする動作可能なシステム バッテリ

F12 メニューから BIOS アップデート フラッシュ プロセスを実行するには、次の手順を実行します。

注意: BIOS のアップデート プロセス中にシステムの電源をオフにしないでください。システムの電源をオフにすると、システムが起動しない可能性があります。

1. 電源オフの状態から、フラッシュをコピーした USB キーをシステムの USB ポートに挿入します。
2. システムの電源をオンにし、F12 キーを押してワンタイム ブート メニューにアクセスします。矢印キーを使用して [**BIOS Flash Update**] をハイライト表示してから、**Enter** を押します。



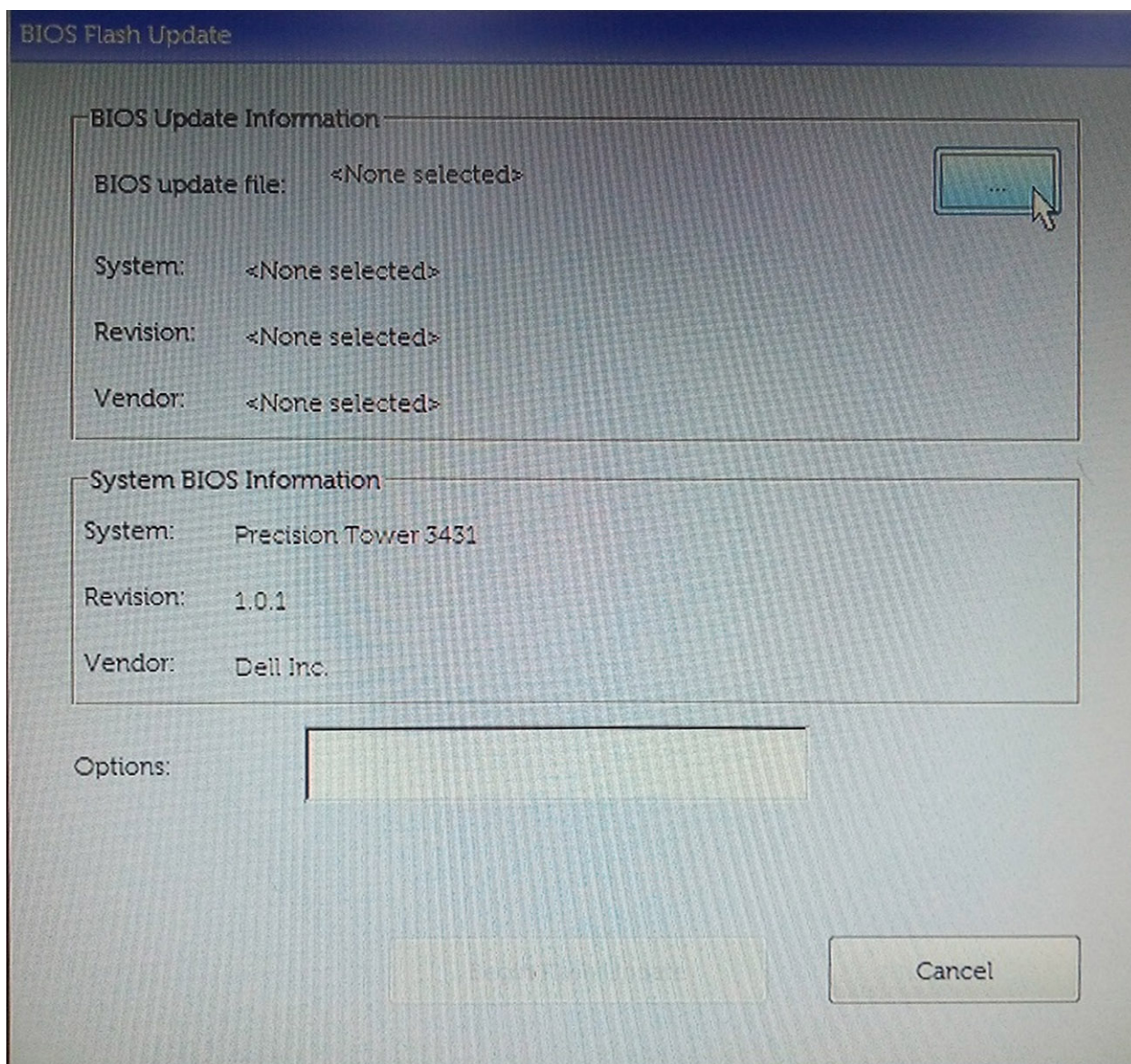
```
Use the ↑(Up) and ↓(Down) arrow keys to move the pointer to the desired boot device.
Press [Enter] to attempt the boot or ESC to Cancel. (* = Password Required)
Warning: Legacy boot mode does not support OS boot on internal storage devices
such as HDD, SSD, NVMe, or eMMC. It is intended for use with external storage devices and
such as SD Card, USB, and Network PXE.

Boot mode is set to: UEFI; Secure Boot: OFF

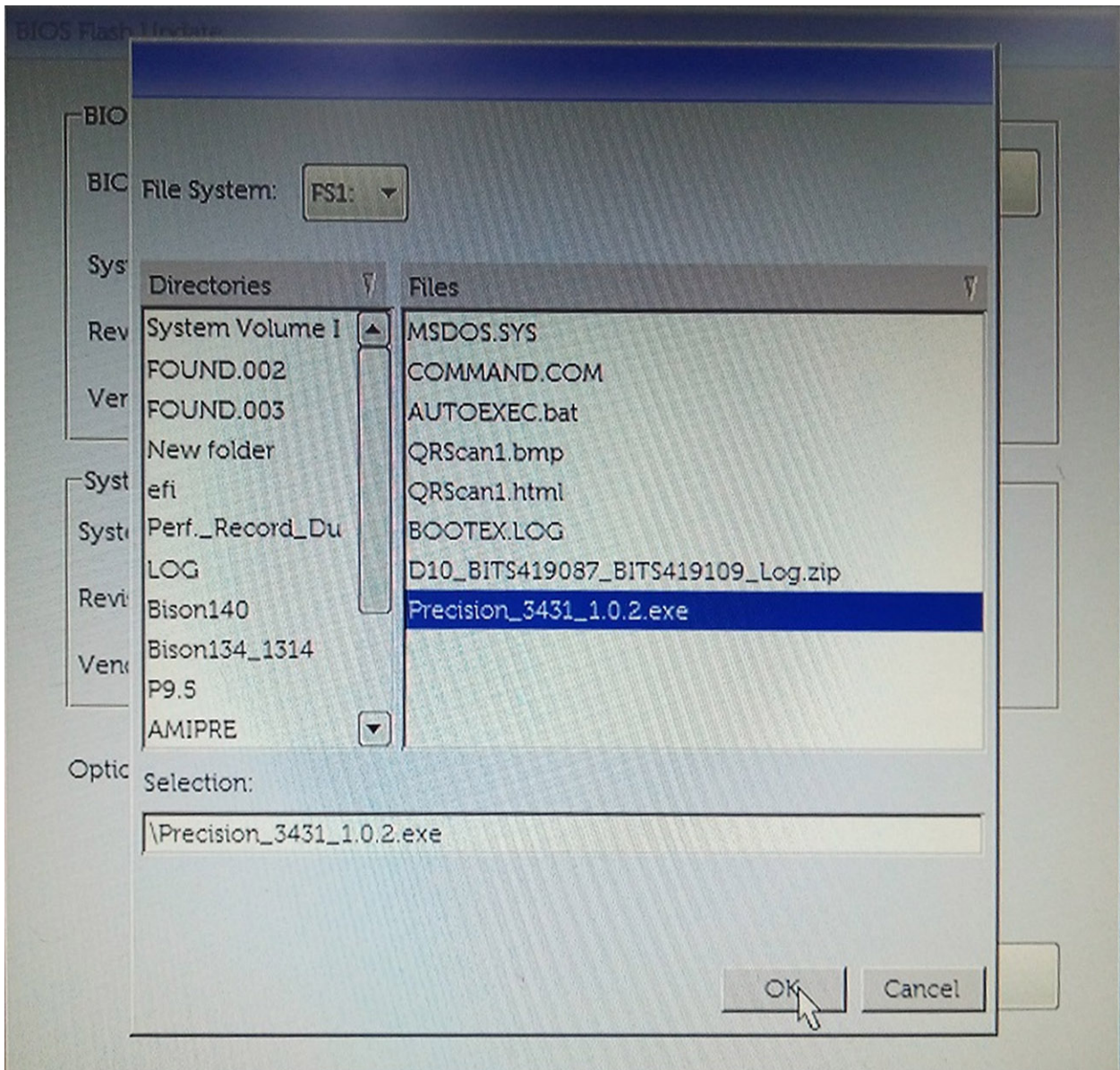
LEGACY EXTERNAL DEVICE BOOT:
  Onboard NIC
UEFI BOOT:
  Windows Boot Manager
  UEFI: SanDisk SD6SB1M256G1012
OTHER OPTIONS:
  BIOS Setup
  Device Configuration
  BIOS Flash Update
  Diagnostics
  Intel(R) Management Engine BIOS Extension (MEBx)
  Change Boot Mode Settings

Precision Tower 3431          BIOS Revision 1.0.1          Dell
```

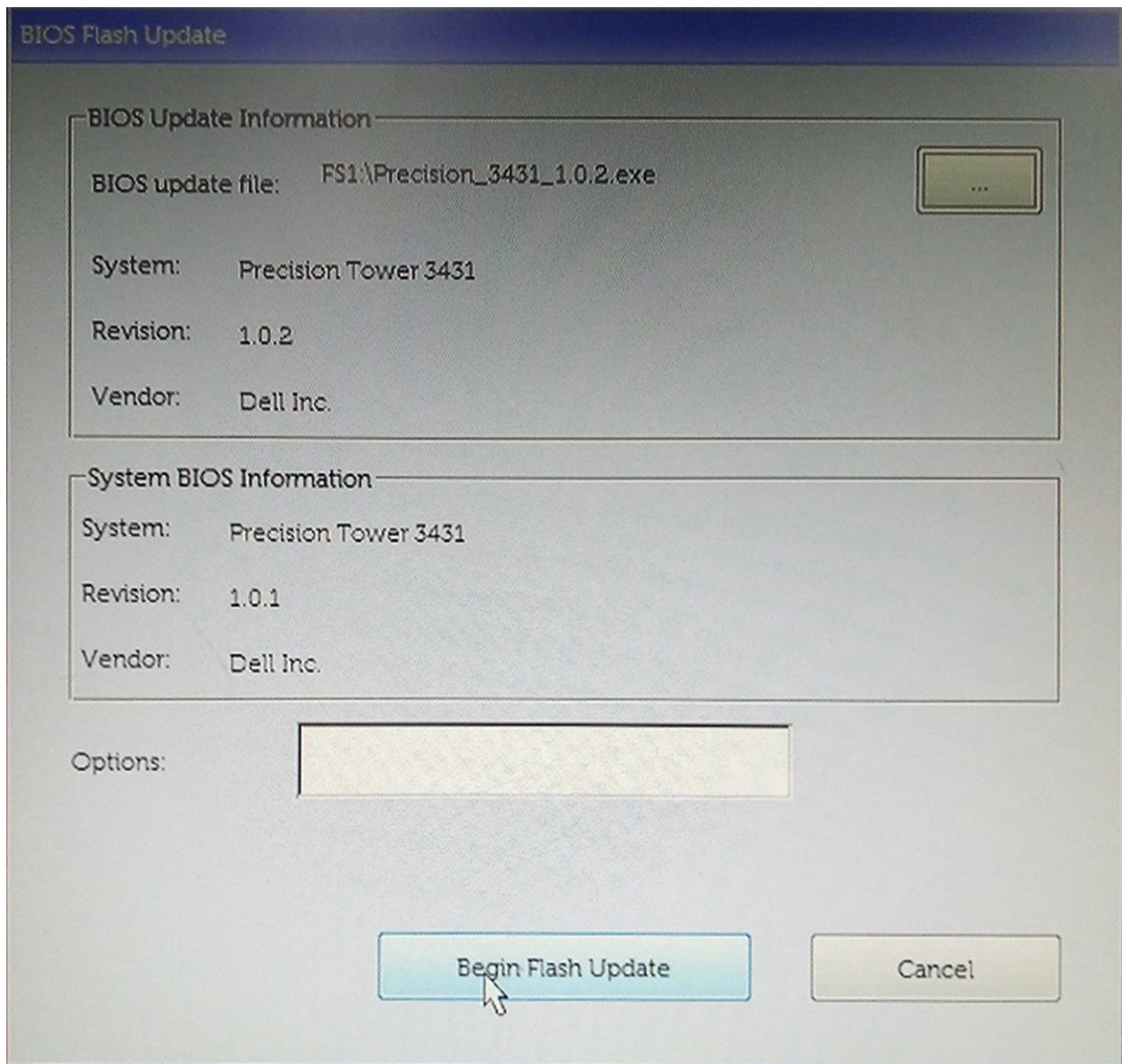
3. BIOS フラッシュ アップデート ダイアログ ボックスのメニューが開きます。[**BIOS Update file**] の参照ボタンをクリックして、BIOS ファイルを選択します。



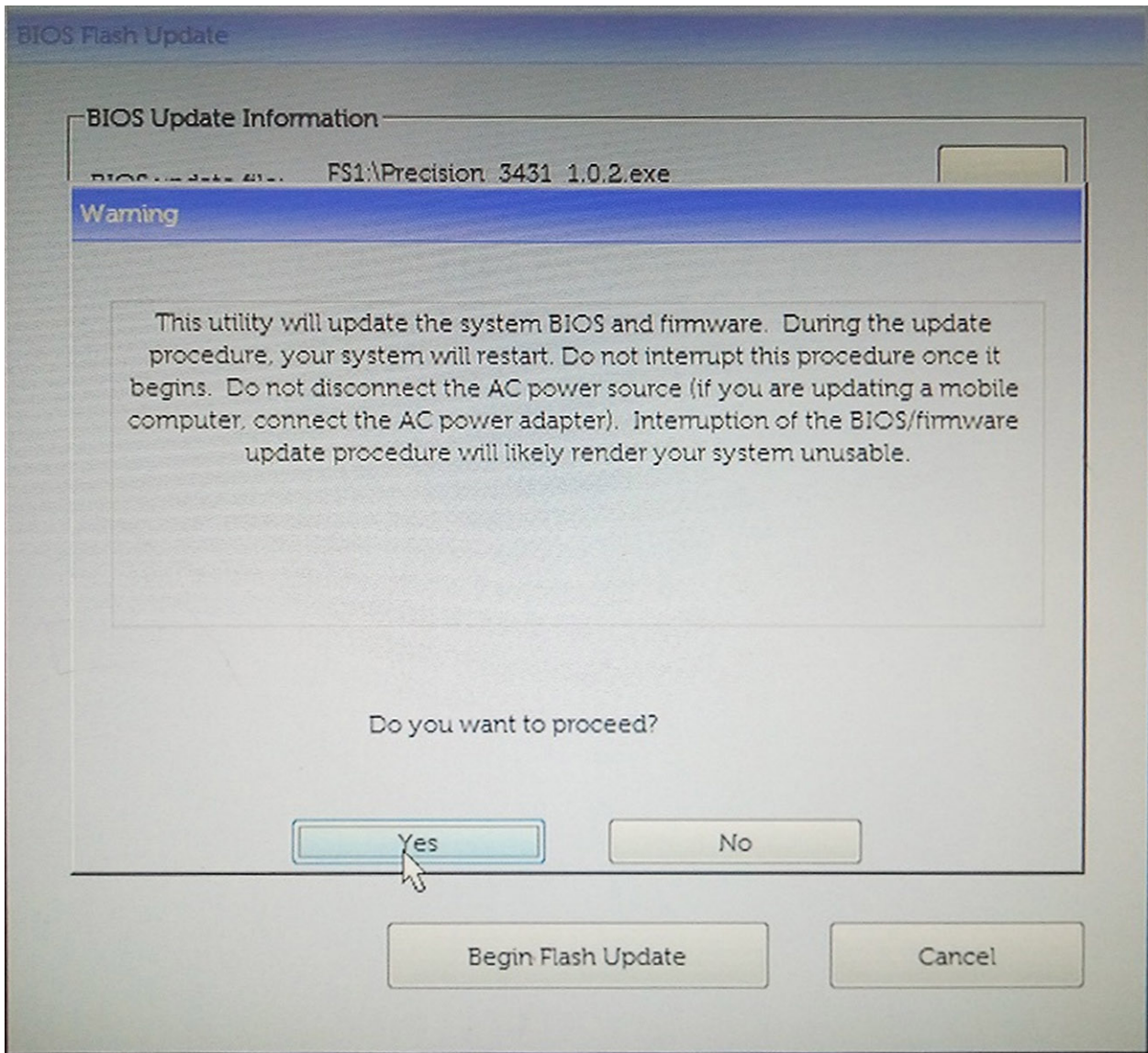
4. BIOS 実行可能ファイルを選択して、[**OK**] を押します。BIOS 実行可能ファイルが見つからない場合は、[**File system**] で外部 USB デバイスの適切なカタログに切り換えます。



5. [**Begin Flash Update**] をクリックすると、警告メッセージが表示されます。



6. **Yes** (はい) をクリックします。システムは自動的に再起動し、BIOS フラッシュを起動します。



7. 完了するとシステムが再起動し、BIOS のアップデート プロセスが完了します。

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 38. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いのコンピュータの BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いのコンピュータを保護することができます。

△ 注意: パスワード機能は、コンピュータ内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

△ 注意: コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

ⓘ メモ: システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システムパスワードまたはセットアップパスワードの割り当て

ステータスが [**Not Set**] の場合のみ、新しい [**System or Admin Password**] を割り当てることができます。


セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面またはセットアップユーティリティ画面で、**セキュリティ** を選択し、<Enter> を押します。
セキュリティ画面が表示されます。
2. [**System/Admin Password**] を選択し、[**Enter the new password**] フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - ・ パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - ・ 0 から 9 までの数字を含めることができます。
 - ・ 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
 - ・ 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、()、(+)、(,)、(-)、(.)、(/)、(;)、([)、(\)、(])、(`)。
3. **新しいパスワードの確認** フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、**OK** をクリックします。
4. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
5. <Y> を押して変更を保存します。
コンピュータが再起動します。

既存のシステムセットアップパスワードの削除または変更

既存のシステムパスワードやセットアップパスワードを削除または変更する際は、パスワードステータス (システムセットアップで) 「ロック解除」になっていることを事前に確認してください。「**Password Status (パスワードステータス)**」が「**Locked (ロック)**」に設定されている場合は、既存のシステムパスワードまたはセットアップパスワードを削除または変更できません。

セットアップユーティリティを起動するには、電源投入または再起動の直後に <F2> を押します。

1. システム BIOS 画面またはセットアップユーティリティ画面で、**システムセキュリティ** を選択し、<Enter> を押します。
システムセキュリティ画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスが**ロック解除**に設定されていることを確認します。
3. **System Password (システムパスワード)** を選択し、既存のシステムパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
4. **Setup Password (セットアップパスワード)** を選択し、既存のセットアップパスワードを変更または削除して、<Enter> または <Tab> を押します。
 -  **メモ:** システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを変更する場合は、プロンプトが表示されたら新しいパスワードを再度入力します。システムパスワードおよび/またはセットアップパスワードを削除する場合は、プロンプトが表示されたら削除を確定します。
5. <Esc> を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. <Y> を押して変更を保存しセットアップユーティリティを終了します。
コンピュータが再起動します。


ソフトウェア

本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

トピック：

- ・ [ドライバのダウンロード](#)

ドライバのダウンロード

1. デスクトップの電源を入れます。
2. [Dell.com/support](#) にアクセスしてください。
3. **Product Support (製品サポート)** をクリックし、お使いのデスクトップのサービスタグを入力して、**Submit (送信)** をクリックします。
 **メモ:** サービスタグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのデスクトップのモデルを手動で参照してください。
4. **Drivers and Downloads (ドライバおよびダウンロード)** をクリックします。
5. お使いのデスクトップにインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバを選択してインストールします。
7. **Download File** をクリックして、お使いのデスクトップのドライバをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

「困ったときは」と「デルへのお問い合わせ」

セルフヘルプリソース

セルフヘルプリソースを使ってデルの製品とサービスに関するヘルプ情報を取得できます。

表 39. セルフヘルプリソース

セルフヘルプリソース	リソースの場所
デルの製品とサービスに関する情報	www.dell.com
ヒント	
お問い合わせ	Windows 検索に Contact Support と入力し、Enter を押します。
オペレーティングシステムのオンラインヘルプ	www.dell.com/support/windows www.dell.com/support/linux
トラブルシューティング情報、ユーザーズガイド、セットアップ方法、製品仕様、テクニカルサポートブログ、ドライバ、ソフトウェアのアップデートなどは、	www.dell.com/support
コンピュータのさまざまな問題に関するデルのナレッジベースの記事。	<ol style="list-style-type: none"> 1. www.dell.com/support にアクセスします。 2. Search ボックスに、件名またはキーワードを入力します。 3. Search をクリックして、関連記事を取得します。
お使いの製品について、次の情報を把握します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Detect Product を選択します。 ・ View Products のドロップダウンメニューで製品を見つけます。 ・ 検索バーに、Service Tag number または Product ID を入力します。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 製品仕様 ・ オペレーティングシステム ・ 製品のセットアップと使用 ・ データのバックアップ ・ トラブルシューティングと診断 ・ 工場出荷時の状態とシステムの復元 ・ BIOS 情報 	

デルへのお問い合わせ

販売、テクニカルサポート、カスタマーサービスに関するデルへのお問い合わせは、www.dell.com/contactdell を参照してください。

- ① **メモ:** 各種サービスのご提供は国/地域や製品によって異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。
- ① **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。